

糖尿病予備群対策(75gOGTTの適応)

健康診断等の結果が下記のいずれかに該当:

- HbA1c(JDS値:現行) 5.6~6.0%
- 空腹時血糖(FBS) 110-125mg/dl
- 随時血糖 140-199mg/dl

•明らかに糖尿病と診断される場合*は、75gOGTTは不要。

•原則75歳までは施行し、あとは対象に応じて行なう。

*血糖が糖尿病型

(空腹時126mg/dl以上 または 随時200mg/dl以上) で

- ①HbA1c(JDS値)6.1%以上 ②糖尿病の典型的症状(口渇、多飲、多尿、体重減少) ③確実な糖尿病網膜症 のいずれかを認める

75gブドウ糖負荷試験

★ 血糖・尿糖 :0', 30', 60', 120'

★ インスリン :0', 30', (60'), (120')測定

I/I (インスリン分泌)、HOMA-R (インスリン抵抗性)を算出

●I/I=Insulinogenic Index : インスリン分泌指数

$\frac{\Delta IRI(30') \mu U/ml}{\Delta PG(30') mg/dl}$ $\Delta IRI(30')$: 血中インスリン(負荷後30分値-負荷前値)

$\Delta PG(30')$: 血漿血糖値の(負荷後30分値-負荷前値)

- インスリン分泌障害のある糖尿病患者では、0.4未満になる。
- 境界型でもこの値が0.4未満のものは糖尿病型へ移行する危険が高い。

●HOMA-R =The homeostasis model insulin resistance index

$\frac{\text{空腹時血糖}(mg/dl) \times \text{空腹時IRI}(\mu U/ml)}{405}$

405

≤1.6: 正常、 ≥2.5: インスリン抵抗性があると考えられる

*注意: 空腹時血糖が140以上では、インスリン分泌不全が生じるのでその解釈に注意する。

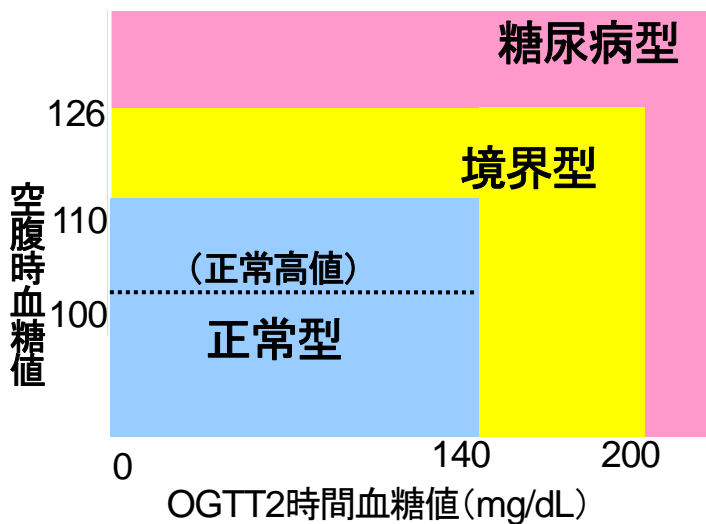
●現行のHbA1c (JDS値)は、いずれはこの値に0.4%を加えた国際標準値で表記する予定である。

●トレーランG75の分割販売(3本~)

注文先 : アルフレッサ日建産業(株) 備蓄センター 専用FAX=058-248-1004

糖尿病予備群対策(75gOGTTの結果から)

75gOGTT の判定区分



注意

①正常型であっても、1時間血糖値が180mg/dL以上の場合は、糖尿病型に移行する率が高いので、境界型に準じた扱いとする。

②空腹時血糖値100~109mg/dLは「正常高値」とする。多様な集団であるので経過観察が必要。

③OGTTの2時間値は、随時血糖には含まない。

正常型

境界型

糖尿病型

糖尿病発症予防の指導

- ★正常を維持するための指導
- ★HOMA-R \geq 2.5、 $I/I < 0.4$ には指導強化

要指導・要経過観察

糖尿病発症を防ぐ大切な時期
HOMA-R、 I/I の結果をふまえて指導

- ★生活習慣改善目標設定し指導
例)体重を3kg減らす、間食を減らすなど
- ★3ヵ月後に再検し、効果进行评估
かかりつけ医で定期健診

要指導・要定期受診

- ★病態説明
- ★定期通院の必要性を説明

→ 糖尿病治療のエッセンス (糖尿病対策推進会議編)

自己努力、スポーツ

自己努力、スポーツ、栄養ケアステーションのサポート

かかりつけ医・地域保健センター・産業医・糖尿病専門医の間でネットワークを整備し経過観察・管理・治療を行う。

病態評価・患者指導にあたっては以下の点に十分留意し、あわせて治療・管理をする

①メタボリック症候群 ②家族歴 ③肥満歴(体重の経過)
④妊娠糖尿病や巨大児の有無 ⑤高血圧 ⑥脂質異常症 ⑦喫煙